

明星レインボウバスと64バスの路線統合について

この度、明星レインボウバス及び64バスの運行の継続に向けた、2路線の統合について、明星レインボウバスの運行主体である明星町自治会、運行事業者の京都京阪バス、宇治市の3者の協議が概ねまとまりましたことから、下記の通りご報告いたします。

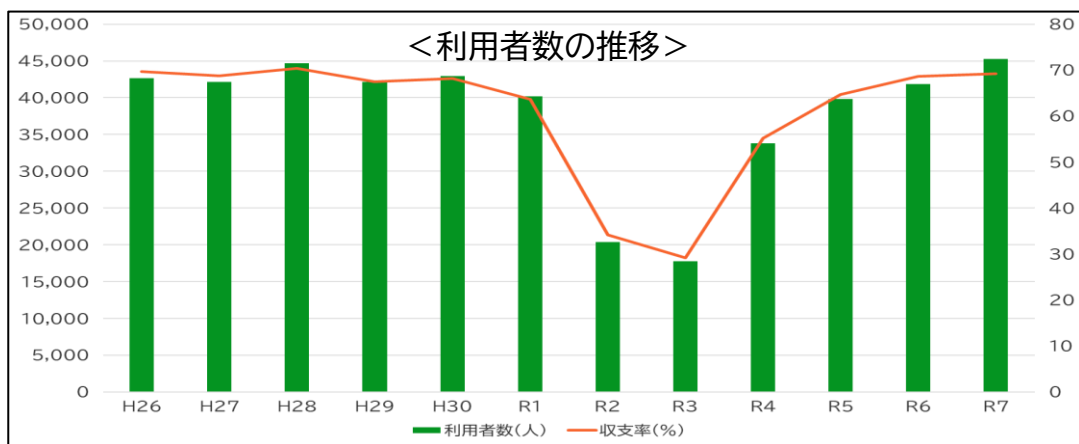
1. 2路線の概要

■40系統折居台明星町線(通称:明星レインボウバス) H26年4月～現在、運行13年目

- ・現在は宇治駅方面行 1日11便、明星町方面行 1日12便運行(内4便が文化センター行)
- ・R7年度 年間利用者数 約45,200人 収支率約69%(市補助:年間約352万円、地元負担:年間約157万円)



利用者数は増加傾向だが、全国的なバス運行経費上昇に伴う地元負担の増加が課題
⇒観光利用の更なる取り込みにより利用者収入を増やしたい

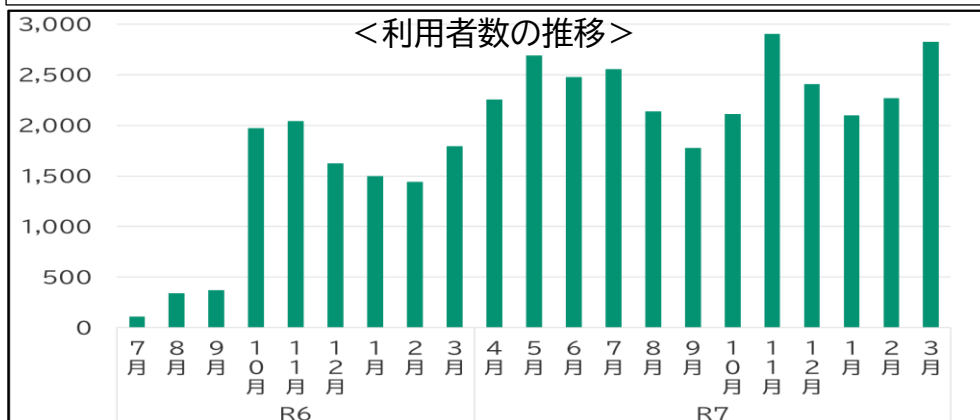


■64系統宇治小倉線(通称:64バス) R6年7月～現在、運行3年目

- ・現在はニンテンドーミュージアムの予約時間に合わせて1日9往復運行
- ・R7年度 年間利用者数 約28,500人 収支率約41%



利用者数は増加傾向にあるが、収支率改善が課題
⇒観光利用、地域利用の更なる掘り起しで利用者を増やしたい



2. 2路線の統合について

- ・この2路線は同型の小型バス車両で運行している
- ・2路線の起終点は重複しているため、路線を連結して運行することが可能

■2路線統合により期待されるメリット

- ⇒バス車両を1台に集約することで、老朽化した運行車両の入れ替えが可能(運行車両の確保)
- ⇒観光利用と地域利用を相互に取り込める(収支率の改善)
- ⇒明星町から乗換えなしで京阪、JR、近鉄の3鉄道に接続が可能(利便性の向上)
- ⇒車両の走行距離の圧縮(運行経費の圧縮)

<年間走行距離>

(km)

	現在	変更後	増減
明星レインボウバス	26,580	23,289	△3,291
64バス	22,995	18,396	△4,599

■2路線統合によるデメリット

- ⇒明星町から文化センターへの直通便の減便(JR宇治駅での乗り継ぎが必要)
- ⇒運行ダイヤの一部見直し

■明星町自治会の主な意見

- ・JR及び京阪への接続に加えて、新たに近鉄へ接続することは利便性向上になる
- ・文化センターへ行く際のバスの乗継時刻を提示してほしい
- ・2路線の統合により、便数や運行時刻が大きく変更されないようにしてほしい

R8年度 実証運行案

交通空白地で運行しているバス路線(明星レインボウバス)と、観光拠点を結ぶ実証運行路線(64バス)を統合し、1台のバスで地域需要と、観光需要の両方を取り込む路線とすることで、持続的な運行に繋げる。

